

和歌山縣報

號 外

大正二年二月七日

○縣令

○和歌山縣令第九號

自働車取締規則左ノ通相定ム

大正二年二月七日

和歌山縣知事 川村竹治

自働車取締規則

第一章 總則

第一條 本則ハ鐵道又ハ軌道ニ依ラスシテ原動力機ヲ使用スル自働車ニ之ヲ適用ス

第二條 本則ニ於テ營業自働車ト稱スルハ一般運輸ノ用ニ供スル自働車及貸自働車ヲ謂フ但シ

自用自働車ト雖營業ノ目的ノ爲ニ使用スルモノハ營業自働車ト看做ス

第三條 試運轉等ノ爲道路ニ於テ一時自働車ノ運轉ヲ爲サントスル者ハ本則第十四條第一號第四

號乃至第六號第八號ノ事項及運轉ノ目的ノ時並道筋運轉從事者ノ住所氏名生年月日ヲ具シ運

轉從事者連署ノ上運轉地所轄警察官署ノ許可ヲ受ケ其ノ車輛ノ前部及後部踏易キ箇所ニ其ノ旨

ヲ明瞭ニ表示スヘシ

前項ノ運轉ニ從事スル者ハ運轉セムトスル車輛カ左ノ各號ノ事項ヲ具備シ其ノ他運轉上安全ナ

ル状態ニ在ルコトニ付其ノ責ニ任ス必要ナル注意ヲ怠リ車輛カ之ニ適合セザルコトヲ知ラザリ
シトキ亦同シ

一 第十八條第一項第二號第三號第五號乃至第九號ノ事項

二 速度計

三 適當ナル音響器

第四條 前條ニ依リ許可ヲ受ケタル者其ノ運轉ニ從事スルトキハ左ノ各號ノ事項ヲ遵守スヘシ

一 運轉中ハ許可証ヲ携帶シ警察官吏ノ求アリタルトキハ之ヲ示スコト

二 許可ヲ受ケル日時及運轉ノ外運轉ヲ爲サザルコト

三 第四十一條第三號第四號第八號第十五號及第四十二條第二號乃至第十二號ノ事項

第五條 本則ニ於ケル道路幅員ハ溝渠及電柱又ハ並木敷及之ニ準スヘキ場所ヲ除キテ測算シ歩道

車道ヲ區別セル道路ニ在リテハ車道ノミニ付之ヲ測算ス

第六條 自働車ノ速度ハ一時間十哩ノ割合ヲ超過スルコトヲ得ス但シ市街地準市街地及夜間ハ一

時間八哩ヲ限度トス

街角橋上阪路又ハ人家稠密ノ場所ニ往來雜踏ノ場所ニ於テハ歩行者ト同一ノ速度ヲ以テ徐行スヘシ

第七條 自働車ヲ用ヒテ他ノ車ヲ牽クコトヲ得ス但シ警察官署ノ許可ヲ得タルトキ及進行中故障

ヲ生シタル他ノ自働車ヲ牽ク場合ハ此ノ限ニ在ラス

第八條 自働車ハ市街地準市街地ニ在リテハ幅員三間未滿其ノ他ノ地ニ在リテハ幅員二間未滿ノ

道路ニ於テ運轉スルコトヲ得ス

第九條 自働車置場又ハ自家ニ出入スル爲止ムヲ得サル場合ニ於テハ前條ノ規定ニ拘ラス特ニ自

働車ノ運轉ヲ許可スルコトアルヘシ

貨物積卸其ノ他特種ノ事由ニ因リ必要ナル場合ニ於テハ豫メ所轄警察官署又ハ其ノ警察官吏ノ承認ヲ得テ前項ノ制限ニ依ラサルコトヲ得

前二項ノ規定ニ依リ許可又ハ承認ヲ得タル道路ニ於テ自働車ヲ運轉スルトキハ必ス徐行スヘシ第十條 本則ノ規定ハ營業ノ許可ニ際シ其ノ營業ニ付特ニ制限ヲ加フルコトヲ妨ケス

第十一條 自働車運轉中衝突、碾死、傷等ノ事故ヲ生シタルトキハ速ニ運轉手又ハ運轉者ヨリ事故發生地管轄ノ警察官署又ハ其警察官吏ニ届出ツヘシ

第十二條 未成年者禁治産者ノ爲ス願届ハ法定ハ理人ノ連署準禁治産者又ハ妻ノ爲ス願届ハ保佐人又ハ夫ノ連署ヲ要ス但シ民法第十七條ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十三條 本則ニ依リ當廳ニ差出ス願届ハ營利ノ目的トスルモノニ在リテハ營業事務所所在地ノ所轄警察官署其ノ他ノモノニ在リテハ其ノ住所地所轄警察官署ヲ經由スヘシ

第二章 營業自働車

第十四條 自働車ニ依リ運輸營業又ハ貨自働車ノ營業ヲ爲シ若ハ營業ノ目的ノ爲ニ自働車ヲ使用セムトスル者ハ左ノ各號ノ事項ヲ具シ當廳ノ許可ヲ受クヘシ其ノ第一號第二號ノ事項ニ變更ヲ生シタルトキハ五日以内ニ當廳ニ届出テ第三號乃至第八號ノ事項ヲ變更セムトスルトキハ更ニ當廳ノ許可ヲ受クヘシ但シ運輸營業ニ在リテハ尙ホ駐車場ノ位置構造設備及其ノ設計圖營業路線ノ起点終点及其ノ經過地名並路線ノ幅員ヲ表示シタル圖面貨自働車ニ在リテハ車輛置場ノ位置構造設備及其ノ設計圖ヲ具スルコトヲ要ス

一 本籍住所氏名生年月日法人ニ在リテハ其ノ名稱代表者、代表者數人アルトキハ主トシテ責

任ヲ負フヘキ者一人支店ニ在リテハ支店ヲ代者スヘキ者ノ住所氏名生年月日及定款寫

二 營業事務所ノ所在地

三 營業ノ種別

四 原動力ノ種類原動力機ノ名稱箇數馬力及其ノ構造明細書

五 車輛ノ重量箇數及構造ノ圖面

六 制御機制動機音響器其ノ他ノ附屬機械器具ノ種別箇數並説明書

七 客車ニ在リテハ乘客ノ定員貨車ニ在リテハ其ノ最大積載重量

八 燃料ヲ要スルモノニ在リテハ其ノ種類及一時間ノ消費量

九 車輛ノ製作所製作年月及經歷

第十五條 自働車ニ依ル運輸營業又ハ貨自働車ノ營業ヲ讓受ケムトスル者ハ當事者ノ連署ヲ以テ

當廳ノ許可ヲ受クヘシ

第十六條 相續ニ依リ前條ノ營業ヲ承繼シ又ハ相續讓受等ニヨリ自働車使用ノ許可ヲ受ケタル營

業ヲ承繼シタル者ハ本則ニ依リ許可ヲ受ケタルモノト看做ス但シ承繼ノ日ヨリ十日以内ニ當廳

ニ届出ツルニ非サルヘ其ノ効ヲ失フ

第十七條 營業者自ラ營業ヲ管理セス若ハ管理スル能ハサル事故ヲ生シタルトキハ管理人ヲ定メ

其ノ住所氏名生年月日ヲ具シ當廳ニ届出ツヘシ其ノ之ヲ變更シタルトキ亦同シ

第十八條 營業自働車ノ構造設備ハ左ノ制限ニ從フヘシ但シ當廳ニ於テ必要アリト認ムルトキハ

更ニ特別ノ裝置ヲ命スルコトアルヘシ

一 輪軸ハ護謨製タルヘキコト但シ貨車ニ在リテハ土地ノ狀況又ハ車輛ノ構造ニ依リ護謨製タ

ヲサルコトヲ得

二 自動車ニハ二個以上ノ制動機ヲ備フヘキコト

三 前號制動機ノ一ハ必ス「ドラム」ニ作用セシメ直ニ車輪ノ運轉ヲ停止シ得ヘキモノ他ノ一ハ機械各部ノ運動ヲ阻止スヘキ装置ヲ有スルモノニシテ原動力機ヲ停止シ且ツ速度ヲ調節シ得ヘキ装置ヲ有スルモノタルヘキコト

四 最高速度計ヲ備ヘ尙ホ蒸氣力ヲ用フルモノニ在リテハ壓力計水準計ヲ備ヘ運轉手ノ補助キ
箇所ニ装置スヘキコト

五 蒸氣瓦斯石油其ノ他爆發性又ハ可燃性ノ物品ヲ容ルヘキ管體其ノ他ノ容器及電線ハ堅牢ニ造リ塞モ漏洩又ハ危險ノ虞ナキモノタルヘキコト

六 機械器具ハ不快ナル音響ヲ發シ又ハ甚シキ震動ヲ爲ササルモノタルヘキコト

七 短半徑ノ曲線ヲ以テ容易ニ方向ヲ變シ得ル爲適當ノ装置ヲ爲スヘキコト

八 車輛ノ重量百貫以上ノ自動車ハ逆行シ得ヘキ装置ヲ有スルモノタルヘキコト

九 明ニ認め得ヘキ煤煙蒸氣又ハ多量ノ有害若ハ有臭ノ瓦斯ヲ發散セサルモノタルヘキコト

十 車輛ニハ適當ノ音響器及車掌連動手間ニ通スル信號器具ヲヘキコト但シ車掌ヲ置カサルモノニ在リテハ信號器ヲ設ケサルコトヲ得

十一 車輛ノ前部ニハ白色前照燈二個後部ニハ紅色燈ヲ備フルコト但シ後部ノ紅色燈ハ其ノ一

部ヲ白色ト爲シ車体外後部ノ車輛番號ヲ照ス様取付クヘキコト

十二 車輛ハ全長十二尺以内幅外法六尺以内タルヘキコト

十三 乗客ノ乗降口ニハ堅牢ナル踏段ヲ設クヘキコト

十四 客席ハ一人ニ付一尺三寸以上タルヘキコト

十五 客車ニハ相當ノ屋根又ハ母衣ヲ設クヘキコト

十六 客車ニハ適當ノ泥除ヲ設クヘキコト

十七 客車ニハ乗客ノ滿員ヲ示ス爲其ノ前後ニ滿員札ヲ掲クルノ裝置ヲ爲スヘキコト

十八 車輛ニハ當廳ニ於テ指示スル車輛番號ヲ車体外後部賭易キ箇所ニ方五寸以上ノ算用數字

ヲ以テ表示スヘキコト但シ客車ニ於テハ車内賭易キ箇所ニモ之ヲ表示スヘキコト

旅客運輸營業以外ノ營業自働車ハ前項第十四號乃至第十七號ノ規定ニ據ラサルコトヲ得

第十九條 營業自働車ハ當廳ノ檢査証ヲ受クルニ非サレハ營業ノ用ニ供スルコトヲ得ス

第二十條 營業自働車ノ車体原動力機其ノ他附屬機械器具ノ變更許可ヲ受ケ其ノ取付完シタル

トキ及之等ノ修繕ヲ爲シタルトキ又ハ許可ヲ受ケタル駐車場若ハ車輛置場ノ新築増築又ハ改築

ノ工事落成シタルトキハ使用前當廳ノ檢査ヲ受クヘシ但シ時宜ニ依リ檢査ヲ省略スルコトアル

ヘシ

第二十一條 當廳ノ檢査ヲ經タル自働車駐車場又ハ車輛置場ノ構造設備ハ常に有効ニシテ保持ス

ヘシ

第二十二條 營業自働車ハ毎年一回當廳ノ指定スル日時場所ニ於テ檢査ヲ受クヘシ

當廳ニ於テ必要アリト認ムルトキハ前項ノ規定ニ拘ラス臨時檢査ヲ行フコトアルヘシ

檢査ノ際ハ營業者及運轉手之ニ立會ヒ檢査吏員ノ指示ニ從フヘシ

第二十三條 檢査吏員ニ於テ檢査ヲ行フ爲必要アリト認ムルトキハ機械器具ノ分解其ノ他ノ措置

ヲ命スルコトアルヘシ

檢査ニ因リ生シタル費用及損害ハ營業者ノ負擔トス

第二十四條 常態ニ於テ危害預防ノ爲又ハ公益上必要アリト認ムルトキハ一時營業ヲ停止シ若ハ制限シ又ハ車体原動力機及其ノ他ノ附屬機械器具駐車場若ハ車輛置場ノ改造修繕若ハ取換ヲ命シ又ハ其ノ使用ヲ禁止若ハ停止スルコトアルヘシ

第二十五條 所轄警察官署ニ於テ必要アリト認ムルトキハ營業線路ニ常時又ハ臨時信號人ノ設置ヲ命スルコトヲ得

第二十六條 營業自働車ハ當廳ノ免許鑑札ヲ行スル運轉手ニ非サレハ之ヲ運轉シ又ハ運轉セシムルコトヲ得ス

第二十七條 旅客運轉ノ用ニ供スル營業自働車ニハ運轉中車輛毎ニ一名以上ノ車掌ヲ置クヘシ但シ車輛ノ構造ニ依リ當廳ノ許可ヲ受ケ運轉手ヲシテ車掌ノ業務ヲ兼テシムルコトヲ得

第二十八條 車掌及運轉手ハ營業者ヨリ其ノ本籍住所其生年月日運轉手ニ在リテハ尚ホ其ノ履歴書ヲ具シ當廳ノ免許鑑札ヲ受クヘシ營業者自ラ之ニ從事セムトスルトキ亦同シ但シ運轉手ニ在リテハ時宜ニ依リ實地試験ヲ行フコトアルヘシ

二十歳未滿ノ者及當廳ニ於テ不適當ト認メタル者ニハ免許鑑札ヲ下附セス其ノ既ニ下附シタル者ト雖技術其ノ他ニ付不適當ト認ムヘキ事實アルトキ又ハ公安若ハ風俗ヲ害スル虞アルトキハ就業ヲ禁止シ又ハ解雇ヲ命スルコトアルヘシ

第二十九條 一般運轉ノ用ニ供スル營業自働車ノ車掌及運轉手ノ服裝ハ營業者之ヲ定メ豫メ當廳ノ認可ヲ受クヘシ其ノ變更ニ付亦同シ

一般運轉ノ用ニ供スル營業自働車ノ車掌運轉手ノ服裝ハ常ニ清潔ニ保持セシメ破損又ハ汚染シ

タルモノヲ着用セシムルコトヲ得ス

第三十條 一般運輸ノ用ニ供スル營業自動車ニ在リテハ旅客貨物ノ管錢額及車輛ノ發着時刻又ハ營業時間貸自動車ニ在リテハ其ノ貸貸料ヲ定メ營業開始前當廳ノ認可ヲ受クヘシ其ノ之ヲ變更セムトスルトキ亦同シ

第三十一條 營業自動車ニハ車輛検査証乘客定員又ハ貨物積載定置車掌運轉手ノ氏名尙ホ一般運輸ノ用ニ供スル營業自動車ニ在リテハ其管錢額ヲ車輛ノ踏易キ場所ニ掲出スヘシ

第三十二條 警察官署ニ於テ必要アリト認めムルトキハ營業時間内何時ニテモ營業所駐車場又ハ車輛置場ニ臨檢シ若ハ車輛原動力機其ノ他ノ附屬機械器具車輛検査証車掌運轉手ノ免許證札及服裝ヲ検査スルコトヲ得

第三十三條 左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ營業者ヨリ五日以内ニ當廳ニ届出免許證札又ハ検査証ノ書換若ハ再交付ヲ受クヘシ

一 車掌運轉手ノ本籍住所氏名ニ異動ヲ生シタルトキ

二 車輛検査証又ハ車掌運轉手ノ免許證札ヲ亡失毀損シ若ハ文字不明ト爲リタルトキ

第三十四條 左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ營業者ヨリ五日以内ニ當廳ニ届出ツヘシ

一 營業ヲ休止シ又ハ廢業シタルトキ

二 車輛ノ使用ヲ廢止シ又ハ讓渡シタルトキ

三 車掌又ハ運轉手ヲ解雇シ若ハ營業者ニシテ之ニ從事セサルニ至リタルトキ

四 車掌又ハ運轉手所在不明トナリ又ハ死亡シタルトキ

營業者死亡シ若ハ其ノ所在不明ト爲リタルトキハ戶主又ハ家族法人ニシテ解散シタルトキハ清

算人ヨリ五日以内ニ當廳ニ届出ツヘシ

第三十五條 左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ營業ヲ停止シ又ハ許可ヲ取消スコトアルヘシ

一 正當ノ理由ナクシテ休業六ヶ月以上ニ及ヒタルトキ

二 本則ニ違反シ處罰ヲ受クルモ尙ホ改悛ノ情ナキトキ

三 本則ニ依リ指示命令シタル事項ヲ遵守セサルトキ

第三十六條 正當ノ事由ナクシテ營業許可後一ケ年ヲ經過スルモ尙ホ營業ヲ開始セサルトキ又ハ所在不明ノ状態ニ在ルコト六ヶ月ニ及フトキハ當然許可ノ効力ヲ失フ

第三十七條 解散死亡又ハ營業者ハ使用ヲ廢止シ又ハ許可ノ取消處分ヲ受ケ若ハ許可ノ効力ヲ失フニ至リタル營業者ニ屬スル車掌運轉手ノ免許鑑札及車輛檢査証解雇セラレ死亡シ又ハ所在不明ト爲リ若ハ就業禁止處分ヲ受ケタル車掌運轉手ノ免許鑑札及廢車又ハ讓渡ヲ爲シ若ハ使用禁止處分ヲ受ケタル車輛ノ檢査証ハ事實ノ生シタル時ヨリ當然其ノ効力ヲ失フ

前項ニ因リ其ノ効力ヲ失ヒタル免許鑑札及檢査証ハ營業者ヨリ五日以内ニ當廳ニ返納スヘシ但シ營業者ノ死亡又ハ所在不明ノ場合ニ在リテハ戸主又ハ家族法人解散ノ場合ニ在リテハ清算人ヨリ其ノ手續ヲ爲スヘシ

第三十八條 貸自働車ハ車輛原動力機其ノ他附屬機械器具ノ檢査ヲ爲シ異狀又ハ危險ノ虞ナキコトヲ確認スルニ非サレハ之ヲ貸貸スルコトヲ得ス

第三十九條 車掌運轉手ノ免許鑑札ハ其ノ車掌運轉手ヲシテ就業中之ヲ携帯セシムヘシ

第四十條 車輛檢査証及車掌運轉手ノ免許鑑札ハ貸借轉用又ハ讓渡ヲ爲スコトヲ得ス

第四十一條 車掌及運轉手ハ左ノ各號ヲ遵守スヘシ

- 一 就業中ハ免許鑑札ヲ携帶シ警察官吏又ハ乘客ノ求アリタルトキハ直ニ之ニ應ズルコト
- 二 車掌運轉手ノ免許鑑札ヲ有セサル者ニ其ノ業務ヲ委託スヘカラサルコト
- 三 就業中濫リニ飲食又ハ喫烟ヲ爲シ若ハ酒氣ヲ帶ヒテ業務ニ服スヘカラサルコト
- 四 濫リニ音響器ヲ鳴ラシ又ハ人ヲシテ不快ノ感ヲ抱カシムルカ如キ掛聲ヲ爲スヘカラサルコト
- 五 乘客又ハ公衆ニ對シテハ惡切ヲ旨トシ侮慢ノ言行ヲ爲スヘカラサルコト
- 六 老幼婦女乗降ノ際ハ惡切ニ保護スヘキコト
- 七 乘客着席シ又ハ降車シ終リタル後ニ非サレハ發車ノ信號ヲ爲シ又ハ發車セサルコト
- 八 警察官吏ニ於テ舉手其ノ他ノ方法ヲ以テ停車ヲ命シタルトキハ直ニ停車スヘキコト
- 九 強テ乗車ヲ勸誘シ又ハ定員外ノ客ヲ乗セ若ハ定量以上ノ貨物ヲ積載スヘカラサルコト但シ十歳未満ノ者ハ二人ヲ以テ一人ト看做シ二歳未満ノ者ハ定員ニ算入セス
- 十 惡臭粉塵若ハ有臭又ハ有害ノ瓦斯ヲ發散シ又ハ他物ヲ汚染スル虞アル物件ハ適當ノ容器ニ入ル、ニ非サレハ之ヲ積載シ又ハ乘客ナシテ携帶セシメサルコト
- 十一 名義ノ如何ニ拘ラス乘客又ハ乗用者ニ對シ定額以上ノ貨物ヲ請求シ若ハ濫リニ宿屋料理屋飲食店等ヲ紹介周旋スヘカラサルコト
- 十二 車輛外ニ張出スヘキ長大ノ物件ハ之ヲ積載スヘカラサルコト但シ特ニ警察官署ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス
- 十三 積荷ハ墜落ノ虞ナキ様纏束スヘキコト
- 十四 夜間運動スル場合ニハ必ス規定ノ燈火ヲ点スヘキコト

十五 停車シタルトキハ車輛自カラ進行ヲ始メ又ハ他人ノ濫リニ之ヲ運轉スルコト能ハサル様充分ノ注意ヲ爲スヘキコト

十六 就業中ハ認可ヲ受ケタル服裝ヲ爲スヘキコト

十七 乗客中粗暴喧擾其ノ他他人ノ迷惑ト爲ルヘキ所爲アルトキハ之ヲ制止シ若肯ンセザルトキハ降車セシムヘキコト

十八 他人ノ厭忌スヘキ病狀アル者附添人ナキ精神病者亂醉者其ノ他暴行ノ虞アル者及危害ヲ及ホスヘキ虞アル獸類又ハ物品ヲ携帯スル者ハ之ヲ乗車セシメサルコト但シ一車屈切ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

十九 傳染病豫防法ニ定メラレタル傳染病又ハ其ノ疑アル患者若ハ死者アリタルトキハ便宜ノ箇所ニ停車シ乗客ノ散逸セサル様注意シ速ニ最寄警察官吏ニ届出ツヘキコト

二十 發車時刻ノ定アルモノニ任リテハ其ノ時刻來リタルトキ其ノ之ヲ定メサルモノニ在リテハ乗客定員半數ニ滿チタルトキハ正當ノ理由ナクシテ發車ヲ拒ムヘカラサルコト

二十一 乗客定員ニ滿チタルトキハ直ニ滿員札ヲ掲クヘキコト

第四十二條 運轉手ハ前條ノ外尙左ノ各號ヲ遵守スヘシ

一 信號人配置ノ場所ニ於テハ無難信號アルニ非キレハ進行セサルコト

二 乗客昇降ノ爲ニスルノ外故ナク道路上ニ停車セサルコト

三 制規ノ速度ヲ超過シ若ハ規定ニ反シテ行車スヘカラサルコト

四 就業中運轉手臺ヲ離レサルコト但レ止ムヲ得サル場合ニ限り機械ノ運動ヲ止メ一時其ノ位置ヲ離ルルハ此ノ限ニ在ラス

- 五 常ニ車輛原動力極ニ注意シ若異狀アルカ又ハ人若ハ牛馬諸車又ハ公衆ニ對シ危險ノ虞アリト認めタルトキハ直ニ速轉ヲ停止シ必要ナル措置ヲ施スヘキコト
 - 六 他ノ自動車ト並行シ又ハ他ノ車馬ト競争スヘカラサコト
 - 七 二輛以上連續シテ行進スルトキハ後車ハ前車ニ對シテ三十間以上ノ距離ヲ保ツヘキコト
 - 八 進路ニ入車馬アルトキ及木石其ノ他ノ障礙物アルトキハ何時ニテモ停車シ又ハ方向ヲ轉シ得ヘキ用意ヲ爲スヘキコト
 - 九 馬匹ニ近クトキハ速度ヲ緩メ恐怖セシメサル様注意スヘキコト此ノ場合ニ於テ馬匹狂奔シ又ハ其ノ虞アルトキハ直ニ停車シ若ハ路傍ニ避クヘキコト
 - 十 車馬道ニ在リテハ左側其ノ設ケナキ道路ニ在リテハ中央ヲ進行スヘキコト
 - 十一 街角ヲ進行スルトキハ右ハ大砲ヲ爲シ左ハ小砲ヲ爲スヘキコト
 - 十二 以上ノ外自動車ノ避讓方ハ左ノ例ニ依ルヘキコト
 - イ 軍隊砲車輜重車ニ對シテハ右側ニ其ノ他ハ左側ニ避クヘシ
 - ロ 寶車ニ對シテハ空車之ヲ避ケ坂路ハ上リ車ニ於テ避讓スヘシ
 - ハ 後車前車ニ先チ進行セムトスルトキハ後車ニ於テ音響器ヲ鳴ラシ前車ノ避讓スルヲ俟テ通過スヘシ
 - ニ 郵便用消防用若ハ撒水用ニ供スル車馬又ハ軍隊其ノ他ノ隊伍及葬儀等ニ對シテハ其ノ進行ニ障礙ヲ與ヘサル様徐行シ又ハ停止若ハ避讓スヘシ
- ホ 電車ノ進行ニ對シテハ軌道外ニ避ケ其ノ軌道ヲ横切ラムトスルトキハ電車ノ通過ニ障礙ヲ與ヘサル様注スヘシ

第三章 自用自動車

第四十三條 自用トシテ自動車ヲ使用セムトスル者ハ左ノ事項ヲ具シ當廳ニ届出ツヘシ其ノ使用ヲ廢止シ又ハ届出事項ヲ變更シタルトキ亦同シ

一 本籍住所氏名生年月日但シ法人ニ在リテハ其ノ名稱事務所所在地代表者代表者數人アルトキハ主トシテ責任ヲ負フヘキ者一人支店ニ在リテハ支店ヲ代表スヘキ者ノ住所氏名生年月日使用ノ目的

三 原動力ノ種類原動力機ノ名稱箇數馬力及其ノ構造明細書

四 車輛ノ重量箇數及其ノ全長外寸幅員

五 制御機制動機音響器其ノ他ノ附屬機械器具ノ種別箇數並説明書

六 燃料ヲ要スルモノニ在リテハ其ノ種類及一時間ノ消費量

七 車輛ノ製作所製作年月及經歷

第四十四條 自用自動車ヲ改造シ又ハ修繕シタルトキハ改造修繕ノ事由方法ヲ具シ當廳ニ届出ツ

ヘシ

第四十五條 前二條ノ届出アリタルトキ又ハ當廳ニ於テ必要アリト認ムルトキハ特ニ吏員ヲ派遣シ車輛ノ検査ヲ當スコトアルヘシ

第二十二條第二十三條及其ノ關則ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四十六條 當廳ニ於テ危害豫防ノ爲必要アリト認ムルトキハ自動車ノ使用ヲ停止制限シ又ハ其

改造修繕ヲ命スルコトアルヘシ

第四十七條 第十八條第二項第一號乃至第十二號及第十八號並ニ二十六條第二十八條第三十三條

第三十四條第一項第四號第五號第三十七條第三十九條第四十條第四十一條第一項第一號乃至第五號第八號第十號第十二號乃至第十五號第四十二條第二號乃至第十二號及其ノ罰則ノ規定ハ之ヲ自用自動車ニ準用ス

第四章 罰則

第四十八條 第三條第四十一條第四十二條ニ違背シ又ハ第二十二條第三十二條ノ檢査ヲ拒ミ又ハ指示ニ從ハス若シ第二十三條ノ命令ニ違背シタル者若ハ第二十四條第二十五條第二十八條第二十二項第三十五條第四十六條ノ處分ニ從ハサル者ハ拘留又ハ科料ニ處ス

第四十九條 第四條第六條乃至第八條第九條第三項第十一條第十四條第十五條第十七條第十九條乃至第二十一條第二十六條第二十七條第二十八條第二十九條乃至第三十一條第三十三條第三十四條第三十七條第二項第三十八條乃至第四十條第四十三條第四十四條ニ違背シタル者ハ科料ニ處ス

第五十條 營業者カ未成年又ハ禁治產者ナルトキハ本則ニ依リ適用スヘキ罰則ハ之ヲ法定代理人ニ適用ス但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ナ有スル未成年者ニ就テハ此ノ限ニ在ラス

第五十一條 營業者ハ管理人戸主家族同居人雇人其ノ他ノ從業者ニシテ本則ニ違犯シタルトキハ自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以テ處罰ヲ免ル、コトヲ得ス

第五十二條 法人ノ代表者又ハ其ノ雇人其ノ他ノ從業者法人ノ業務ニ關シ本則ニ違犯シタル場合ニ於テハ本則ニ規定シタル罰則ハ之ヲ法人ニ適用ス

法人ヲ罰スヘキ場合ニ於テハ法人ノ代表者ヲ以テ被告人トス

附則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

和歌山縣報外

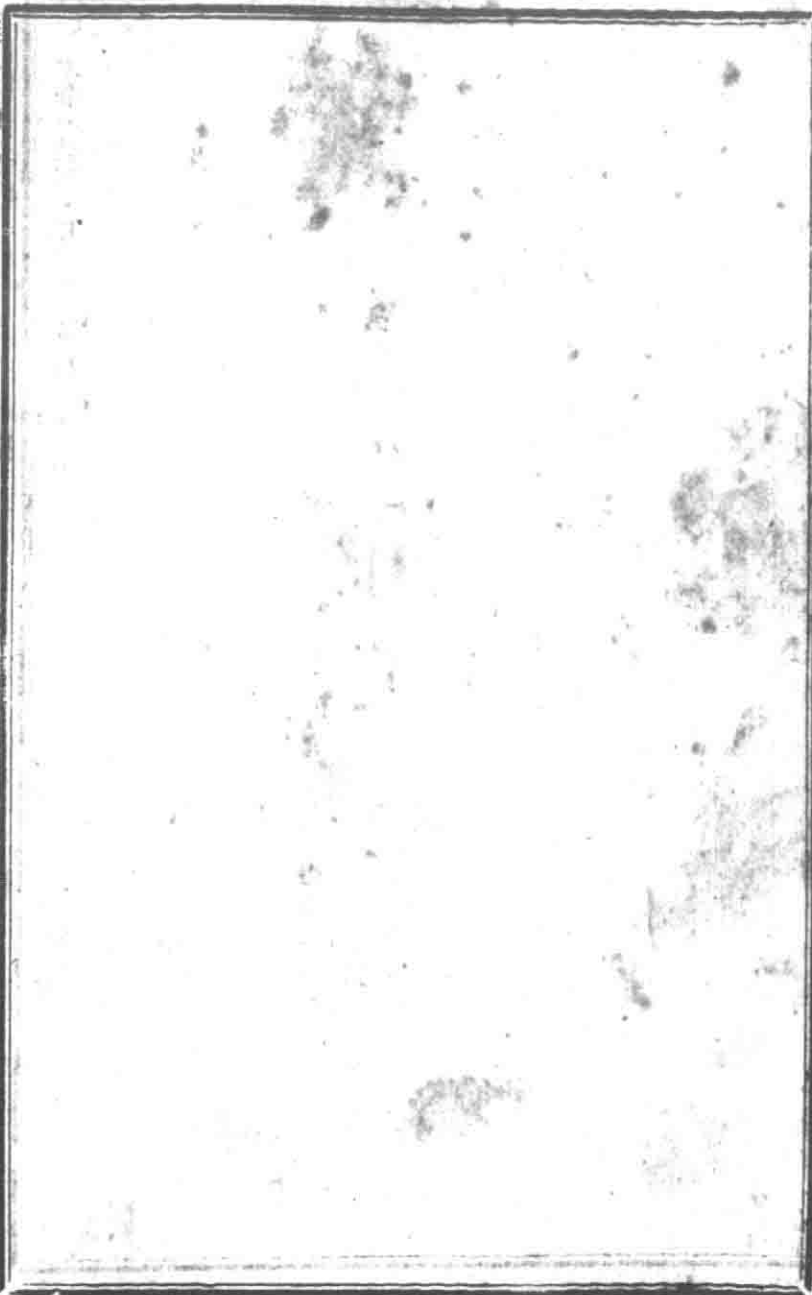
大正二年二月七日

第三種郵便物認可

和歌山縣知事官房

和歌山縣知事官房

一六



大正二年二月七日發行
和歌山縣知事官房
大正二年二月七日發行
和歌山縣知事官房

大正二年二月七日發行
和歌山縣知事官房

和歌山縣知事官房

和歌山縣知事官房
和歌山縣知事官房